

## 4 ボールデフの組み立て

ボールデフの組み立ては、既に理解しておられると思いますが、念のため書いてみます。

デフボールは、インチサイズ 3.17 です。

デフボールは、キット標準にしては、良い物を使用しておりますので、そのままでも大丈夫だと思います。

デフハウジング A.B とデフリングの接地面もボールデフグリスを塗ります。デフハウジングとデフリングの滑りを防止する為です。

デフリングは、#3000 耐水ペーパー等で磨いた方が、よりスムーズな作動になり滑りにくくなります。

デフリングを磨く時は、ガラスの上に耐水ペーパーを敷き、その上にデフリングを置き、大きめの消しゴムをデフリングの上に乗せて円を描くように磨きます。

デフリングを直接手で磨くと、力加減と熱で均等に磨けないのです。

## 9 Tバーの組み立て

Tバーとボールシートの隙間が多いので、このまま組み立てると、ボールシートに負担がかかり、ガタが出やすくなります。

Tバーのボールシートを嵌め込む穴に、低粘度の瞬間接着剤を数回塗布して、軽く圧入になるようにします。ボールシートのガタが出にくくなります。

## 11 リアダンパースターの取り付け

メインシャーシとダンパースターの間に 1mm のカラーを挟みます。(リバウンドなどセッティング幅が広がる為です)

## 15 キャスターマウントプレートの取り付け

セッティングを開始する時は、キャスターマウントプレートの向きを、5° の向きで始めて下さい。

## 18 サーボの取り付け

説明書では、3×5.5×1mm スペーサーを入れるのですが、高さ 1mm では車高が高すぎますので、高さ 3mm のカラーに変更し、カラーを挟んで無かった一番後ろに高さ 2mm のカラーを挟みます。車高を 3~4mm になるように調整して下さい。

## 22 ステアリングアップライトの組み立て **重要**

ステアリングアップライトとスロットキャプチャーインサートの嵌め合いがキツイので、ここ重要です!

双方の部品にシリコンオイルを最初に塗布して、染み込ませます。先にこの作業を行っておくと、組み立てが容易になります。

組む際はシリコンオイルを拭き取って組み立てます。(3mm の HEX レンチは、出来るだけ精度の高い物を使用して下さい)

説明書では指示して有りませんが、ステアリングアクスルにキングピンをセットした後、ステアリングアクスル内側からセットスクリュー 3×3mm で固定します。

## 23 ステアリングアップライトの取り付け

リアのトラクションが高いため、フロントコイルスプリングは、標準の物からセッティングを開始して下さい。

## 25 オイルダンパーの組み立て **重要**

フリクションタイプのダンパーは、組み立ての時にエアが噛みやすく、オイルを少し多めに入れて組み立てるのですが、当社のダンパーは、精度を出来る限り高めているので、オイルが簡単に抜けません。

(WDF-3) プレートを中心に沈めた時にオイルが溢れてきます。エアが入らない程度にオイルを拭き取って下さい。

ヘッドキャップを閉める時に硬ければ、オイルとエアが残っていますので無理をせず、締めて緩めて締めて緩めてを繰り返していただければ、最後まで真っ直ぐ入ります。

ピストンの縁は、#2000 等の耐水ペーパーでバリを除去し、シャフトが通る穴は、ドリル等でバリを除去して下さい。

ショックシャフトにロッドエンドを最後まで締めた後、1~2mm 程度戻して下さい。(リバウンド量確保の為)

キット標準のシリコンオイルは 400 番です。シャーシのサイドが地面に摩擦しない様に調整して下さい。

## 28 アッパーアームの組み立て

アッパーアームの長さは、メカを含む全ての物を搭載した後、リアのボトムプレートが平行になるように長さを調整して下さい。

## その他セッティングについて

コース毎に指定タイヤ、よく使われているタイヤを履いてセッティングをスタートして下さい。

リアのトラクションが高いため、アンダーステアになりやすいので、キャスターマウントプレートの上に 10g 載せるのも有りです。